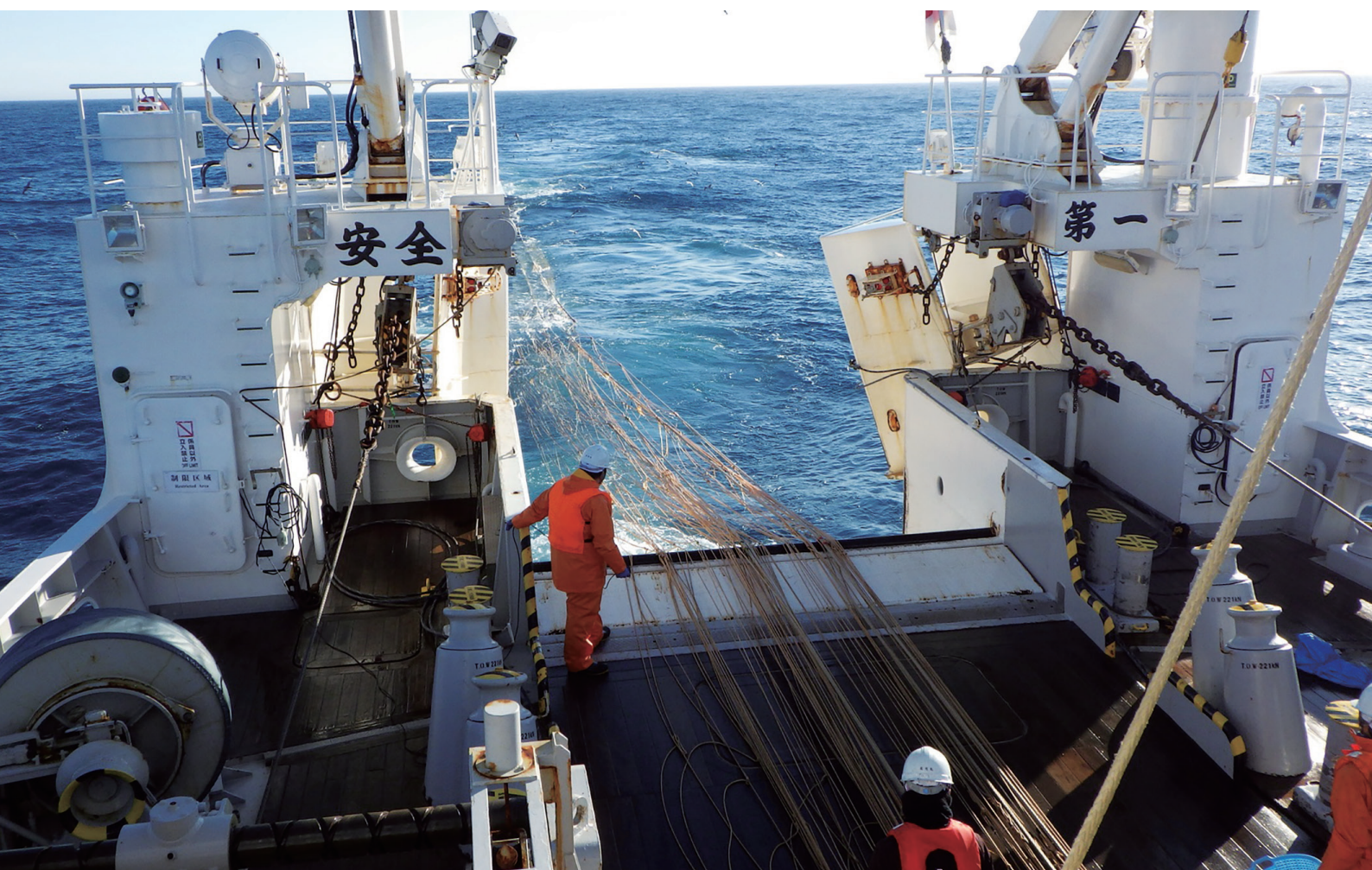


# SALMON 情報

第 20 号

2026 年 3 月

- サケふ化放流事業の歴史的変革と最近の不漁問題
- サケの温度生理特性の集団差と経験水温
- 降海後に逆方向へ移動するサケ幼稚魚
- 本州日本海側のサケ回帰率を高める放流手法の検討  
～いつ・何グラムで放流すればよいか～
- サケ卵の衝撃耐性試験の結果と卵管理への応用
- さけます類の稚魚放流を支える沿岸水温情報
- ペーリング海さけます外航調査記  
ほか



編集 水産資源研究所さけます部門



国立研究開発法人  
水産研究・教育機構

## 目次

## 特別寄稿

- サケふ化放流事業の歴史的変革と最近の不漁問題…………… 小林 哲夫 3

## 研究成果情報

- サケの温度生理特性の集団差と経験水温…………… 阿部 貴晃 9
- 降海後に逆方向へ移動するサケ幼稚魚…………… 本多 健太郎 14
- 本州日本海側のサケ回帰率を高める放流手法の検討  
～いつ・何グラムで放流すればよいか～…………… 飯田 真也 17

## 技術情報

- サケ卵の衝撃耐性試験の結果と卵管理への応用…………… 平林 幸弘 21

## トピックス

- さけます類の稚魚放流を支える沿岸水温情報…………… 戸谷 タ子 24
- ベーリング海さけます外航調査記…………… 本多 健太郎 26

## さけます情報

- さけの遡<sup>かえ</sup>る川-6 黒部川（富山県）…………… 阿部 邦夫 30
- 北太平洋と日本におけるさけます類の資源と増殖…………… 濱崎 薫 32

## mini column

ベーリング海はサケをはじめ多くの水産資源を支える生産力が高い海域で、日本系サケは豊富な餌を求め、日本から約 3,000 km も離れたこの海域に向かいます。強風や極寒、高波など、地球上でも最も過酷な海域として知られていますが、夏は気温が 10℃ほどで波も穏やか日もあり、ごく稀に、水面が鏡のように空を映すこともあります。水産研究・教育機構では、日本系サケの資源状態や生物学的特性を把握するため、毎年夏にモニタリング調査を実施しています。

写真はさけます類を採集するためにトロール網を揚網している様子です。網が上がると魚体サイズの測定やサンプル採取の作業を行います。時には甲板がさけます類で埋め尽くされ、辺りが真っ暗になるまで作業が続くこともあり、一日の調査終了後はクタクタです。今後も調査を継続し、日本系サケの動態を注視していきます。(佐藤智希)

